



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報



会員増強拡大月間

第755回 平成14年 8月28日(水)

慈愛の種を
播きましょう

2002-2003年度 国際ロータリーのテーマ

[本日のプログラム]

- | | |
|-------------|---|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ロータリーソング | |
| 「奉仕の理想」 | |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時間 | |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 委員会報告 | |
| 7. フォーラム | |
| 8. 点 | 鐘 |

- 次回予告
- ★ 9月4日(水)
ガバナー公式訪問
(全員出席)
クラブ協議会
100万ドル食事
- ★ 9月11(水)
ロータリー情報
(雑誌紹介・Rの友他)
9月セレモニー
理事・役員会

9/9.(日)
西重会ゴルフ
宮崎国際CC
8:00集合、

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週水曜日 (12:30~13:30) 会長 宮原 建樹
例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 林 厚雄
事務局 宮崎県佐土原町大字下那珂3887-17 幹事 中武 幹雄
☎880-0212 会計 佐藤 高元
TEL及びFAX 0985-73-7170 会報委員長 池田 仁志

第754回例会記録

(2002. 8. 21)

☆会長の時間

会長 宮原建樹君

本日は第754回の例会です。

ビジターをお迎え致しました。西都RCよりお越しの綾部 誠君です。

ようこそ！

先週はお盆のため、休会しましたが、ゆっくり先祖のお墓参りとかされたことだと思います。

今日はプログラムにはガバナー補佐訪問となっておりますが、既に6月に第1回の訪問をされておりますので、補佐訪問は9月4日（水）のガバナー訪問時になります。

また、クラブ協議会でもありますので、テーブル配置を公式訪問スタイルにしました。このテーブル配置を見ると公式訪問が近づいたなーとの感を抱かれていると思います。

公式訪問の日は必ず全員出席でガバナーをお迎えしたいと思いますので、是非出席率100%を達成致しましょう。どうしても出席出来ない方は今の内にご連絡頂きたいのですが…

今年度、第1回の会長・幹事会が去る8月9日（金）に宮崎市の観光ホテルであり、公式訪問、クラブ協議会、GSE受入れについてガバナー補佐を中心に協議されました。

公式訪問では、ガバナー補佐からのお願いとして、地区運営方針に対するクラブの取り組みを、担当委員長から発表をして頂くようにとの事でした。お配りし

ました書類に目を通して頂きたいと思います。

今年も入会2年未満の会員は、昨年同様11時からの協議に参加して下さいとの要請がありました。

佐藤会員、村岡会員、堀口会員、鬼塚会員、岩切徳夫会員、近藤会員、以上6名の方々は時間が長くなりますが、御参加方、よろしくお願ひ致します。

ガバナーの歓迎会を9月2日（月）に西都で西都、高鍋、佐土原の3RCの会長・幹事でやろうかとの話があり、幹事と相談の結果、ガバナーも快く了解頂きました。

それから、GSEチームの受入れの件ですが、以前報告しましたように、11月8日（金）が当クラブの責任日で、宮崎駅にチームを出迎え、ホテルメリージュにてオリエンテーションに参加する、ということになります。まだチーム（アメリカ）のメンバーははっきりしておりません。日程については配布の書類をご覧下さい。

宮崎北クラブより、中部分区のライラの案内がありましたが、新世代フォーラムの案内と共に新世代委員長より、報告して頂きます。

又、来年度のガバナー補佐は宮崎中央RCより選出する旨の案内もありました。

今月は会員増強拡大月間でもありますが、お盆休みもあり、アッという間に8月が終わろうとしております。

来週にでも会員増強委員長に増強についてのお話をしてもらおうと思います。

☆幹事報告

幹事 中 武 幹 雄 君

本日は例会変更等のお知らせはあります。

会長より、ガバナー公式訪問時の全員出席についてお話をありました。幹事からもお願ひしておきます。是非、万障繰り合せの上、出席方よろしくお願ひ致します。

先日、本年度始めての会長・幹事会が開かれ、出席いたしましたが、各クラブともそうそうたる方々で私は圧倒されました。皆様から息吹きを頂いたと思っております。是非とも頑張って勉強し、皆様について行く様、努力致します。

☆出席報告

委員長 村岡 博 君

会 員 数	27名
例 会 出 席 者	21名
出 席 率	78%
メークアップ者数	2名
修 正 出 席 率	85%
欠 席 者 名	大田、神宮寺、近藤、鬼塚

☆新世代委員会

委員長 藤 堂 孝 一 君

ライラ（青少年指導者育成研修会）について

本年度はライラの時期が早くなっています。下記の通りです。

日時 平成14年10月5日（土）10:00~

10月6日（日）13:00解散

会場 宮崎県総合青少年センター・宮崎県青島少年自然の家

TEL0985-58-1711

参加者 研修生 - 20~30歳の社会人、大学生

各クラブ4名以上

ロータリアン - 各クラブ3名以上

締切日 平成14年9月10日（火）

エントリーフォーム 宮崎北RC

是非、ご協力をお願い致します。

研修生を出される方は書類は当方にありますので、申し込み下さい。

☆15周年記念事業

について 吉田 康一郎 君

平成14年8月より、15周年記念実行委員会を発足させました。

実行委員長に直前会長の私、吉田が、副委員長に山脇忍君、垂水節雄君の2名委員として会報委員長の池田仁志君、広報委員長の岩切徳夫君、以上の5名で実行委員会を作りました。

記念誌を発行するわけですが、勿論、皆様のご協力がなければ身動きが取れません。誌の経費として、7月に遡り、1人当たり、月￥1,000、6月迄、1年間、現在27名在籍ですので、トータルで￥324,000なります。是非とも立派な記念誌を作りたいと思いますので、色々な情報を寄せ頂きたいと思っております。その時々の経費はボランティアということになります。設立時の苦労話、歴代会長のお話等の原稿を沢山頂き池田、岩切両会員に編集をして頂きたいと思います。

実行委員会の5名の方は勿論、会員の皆様のご協力を何とぞ宜しくお願い致します。

☆会員卓話

堀口英秋君

入会して1年以上になりますが、皆様の卓話を伺っておりますと、良く勉強されている様子が窺われます。私も話題に悩みましたが、事務器、OA機器を販売して30年程になりますが、現在の事務器業界、文具業界に関わるお話をさせていただきます。事務器、文具の販売が、昭和63年度は28,546件、平成9年度は21,000件に減少、更に本年度は16,000に減少する様です。

将来は全国で関連の業者は6,000社で済むであろうと言われております。約3分の1になります。

是非、生き残らなければなりませんが…。そんな厳しい状況を作ったのが業界の流通システムが非常に変わったということあります。ご承知の通り、世はパソコンの時代になりました。これを利用した販売と、そして我々が1番困っているのが、通販によるカタログ販売であります。それに対抗して我々（コクヨを中心とした業者）もカウネットという通販を開始して2年程になりますが、その売上げが年平均約200億円あります。最初始めたアスクルが現在、約700億円の売りを上げております。それだけ通販の需要は増えております。勿論、1千億円を対象にした商品設定でありますので、公平に又、低価格で出ておりますので、現実的に我々エージェントには5~6%位の利益しかありませんし、通販をやっていても中々食えないというのが現実であります。その中で非常に面白い現象がありまして、例えば、アスクルの700億、コクヨのカウネットの200億の中の文具はその約半分の350億、コクヨは100億しかありません。何が売れるのかと言うと雑貨商品（インスタントラーメン、インスタントコーヒー、飲料水、家庭用洗剤等）が5割を占めています。業界としても大変吃驚、という所であります。

このカタログ販売はあくまでも我々がお客様を各メーカーに紹介し、年2回位カタログ（カタログ代が1冊800円位）が配達されます。カタログ代も我々負担、そして客が万一、支払いをしない時、これも我々が代わって支払う、というようなことになって

おり、メーカー側は全く損をしなくて済む、と言うことになっております。

こういうカタログ販売も現在全国で約46社、5年後には販売額が約2,400億円になるであろうといわれており、成長産業であります。これに対抗する商売はどうすべきか我々も真剣に模索中であります。一応現況としては以上の様な形で流通は進んでおりますが、我々を取り巻く商品は紙製品、その他色々な商品にエコ商品（再生商品）が非常に増えておりまして、皆様もご存じと思いますが、色々なマークの商標が目に付くとおもいます。

エコマーク

（財）日本環境協会の認定商品であることを示します。「私達の手で、地球の環境を守ろう」という気持ちを表したシンボルマークです。

グリーンマーク

（財）古紙再生促進センターが認定した古紙を原料とした紙製品に表示され環境緑化事業に協力している製品であることを示します。

再生紙使用マーク

ごみ減量化推進国民会議で定められた、古紙配合率が容易に分かるマーク

非木材紙マーク

地球環境保全に役立つ非木材資源を使った紙製品に付けられるマークです。

（ケナフ…1~2年で生育
さとうきびのしづりカス等）

グリーン購入法

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進に関する法律
(他は資料をご覧下さい)

(資料9ページ)

限りある資源のために、再生材料を部材に利用しています。

身近な物を列記してみると

再生紙キャンパスノート

飲料パック—溶解—再生パルプ—抄紙—再生原紙—加工—ノートの表紙
(牛乳パック1リットル1本で、上記ノート1.4冊分作れる)

クズ入れ

廃バッテリー—粉碎—フレーク—ペレット化—成形
(自動車用の廃バッテリー約1.3個で、クズ入れ(樹脂製)が1個分作れます)

等、色々ありますが、興味のある方は資料の方をご覧下さい。

地球の環境を良く考え、真剣に取り組まないと地球の自然は益々破壊されてしまいります。国民全てが出来ることからしっかり取り組み、地球を奇麗なものにして次代に残して行きたいものと思います。